



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

山口県立大学学術情報センターだより第1号

(図書館報 YPU Library 第20号)

発行：2016年8月1日

山口県立大学学術情報センター
電話：083-928-5475 (内線) 5475
e-mail : gakujo@yamaguchi-pu.ac.jp

山口県立大学図書館
電話：083-928-0522 (内線) 5790/5791
e-mail : lib@sakura3.yamaguchi-pu.ac.jp

学術情報センターが開設されました

2016年4月に教学組織の再編がなされ、本学の教育研究活動を支える組織が3部署3センター(教務学生部・総務管理部・経営企画部、高等教育センター・学術情報センター・地域共生センター)に集約されました。このなかで、新たに設置された学術情報センターには研究支援部門と情報基盤部門が置かれ、図書館や郷土文学資料センターを含めた形で、学生や教職員のみなさまが行う学問の専門性を高めるための支援業務を行うこととなりました。学術情報センター管理室は図書館2階にあり、図書館管理も含めて8名の室員が配置されています。新しい図書館の実施設計が進んでおり、夢は大きく膨らみます。が、まずは来年4月からの新キャンパス共用開始に向けた看護棟図書室の見直しと、空スペース等も活用した学術情報センター機能の充実を目指しています。しばらくはご迷惑をかけることが多いと思いますが、本学の新たな組織の基礎を固め、学生や教職員のみなさまのお役に立てるセンターとなるよう努力したいと思います。ご意見やご要望がありましたら、どうぞセンターまでお寄せ下さい。

なお、本学の図書館報『YPU Library』は第19号まで発行されています。学術情報センターだより第1号は図書館報『YPU Library』を継承して発行します。(学術情報センター所長・図書館長：岩野雅子)

学術情報センター管理室から「こんにちは」

4月の教学組織再編で学術情報センターが新設され、センター管理室室長を拝命いたしました。管理室の主な業務は、科研費や学内研究助成等の申請や、研究倫理委員会・動物実験委員会等に係る研究支援、学内情報ネットワークの整備やICTを活用した教育研究に係る情報基盤支援、本学の学術情報誌発行、図書館や桜圃寺内文庫、郷土文学資料センターの管理運営です。学生や教職員の学びや研究が進められるよう、日々支援を行ってまいります。私ごとですが、過去に私学において図書館システムを5年半担当した経験があり、約20年ぶりに図書館業務に携わることとなりました。一方、科研費等の申請に係る研究支援については初めての業務です。精一杯努めますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(学術情報センター管理室長：松田和也)

学術情報センターの新しいメールアドレスは、gakujo@yamaguchi-pu.ac.jpです

学術情報センターのメールアドレスは gakujo@yamaguchi-pu.ac.jp です。お問合せや各種申請書提出等の際は、上記メールアドレスをお願いいたします。特に8月初旬から9月までのほぼ2か月近くは、司書課程の長期研修に出て管理室長が不在となります。ご迷惑をおかけしますが、本学の図書館の発展のために必要となります。この間はセンター所長、2つの部門長、室員でセンター業務を回していきますが、各種申請等への迅速な対応のため、必ず上記メールへのご連絡をお願いいたします。職員個人宛へのメールは学外では閲覧できませんので、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

研究支援部門について

研究支援部門では、主に科研費や学内研究創作活動助成事業等、研究費獲得申請に係る支援および生命倫理委員会の申請・審査や研究倫理教育に関わる支援を行っています。間もなく、本年度の科研費の公募が開始されます。申請に係るご不明な点等、遠慮なく申し付けください。また、生命倫理申請・審査に関しましては、平素より申請者の先生方のご協力に感謝申し上げます。8月～9月時期（管理室長不在期間）の支援につきましても、できる限り迅速に進めて参りますので、引き続き先生方のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。（部門長：上白木悦子）

情報基盤部門について

インフラ整備として学内情報ネットワークの整備や運用、教育支援としてeラーニングの導入や環境整備を行っています。現在は新キャンパスにふさわしい次世代のネットワークの構築に業務を集中しています。学内からの希望を受け、今夏には職員向けに表計算ソフトの基本を、教員向けには次世代のプレゼンテーションの講習会を開催する予定です。ネットワークの利用に関しまして、ご要望等ございましたらお気軽にお知らせください。（部門長：畔津忠博）

郷土文学資料センター

『郷土文学資料センターだより第27号』をご覧ください。（センター長：稲田秀雄）

現在募集中の研究支援等について

以下の事業を募集中です。なお、平成28年度学内研究創作活動助成、地域志向教育研究支援助成、科研費研究計画調書支援（外部業者による面談・スカイプ相談事業）は募集を終了しました。滞在研修については秋に募集開始となり次第お知らせします。

	事業名	締切	概要	備考
1	平成28年度山口県立大学研究推進支援事業	7月29日	出版予定のある教員を対象に、事務補助職雇用経費を助成	事務補職員（日々雇用）週1回で1年分相当分
2	科研費（基金分、一部基金分）の前倒し支払い請求申請①	8月22日	平成28年度に科研費（基金分、一部基金分）の前倒し使用を予定する研究者	学術情報センター管理室提出
3	平成28年度山口県立大学校園学術三賞	8月31日	(1) 校園教育賞、(2) 校園研究賞、(3) 校園地域貢献賞	受候補者を推薦しようとする者は本教授に限る。
4	平成28年度山口県立大学学術研究出版助成事業	8月31日	研究成果を書籍により刊行しようとする者に対し、予算の範囲内でその経費一部を助成	1件あたりの上限額500千円
5	科研費採択調書の閲覧	11月20日	本学教員が研究代表者となり、採択された科研費の調書閲覧サービス（平成24年度分～28年度分）	閲覧場所：学術情報センター管理室
6	山口県立大学学術情報（紀要）	11月21日	1 国際文化学部紀要、2 社会福祉学部紀要、3 看護栄養学部紀要、4 高等教育センター紀要、5 大学院論集	学術情報センター管理室提出
7	科研費（基金分、一部基金分）の前倒し支払い請求申請②	11月22日	平成29年度に科研費（基金分、一部基金分）の前倒し使用を予定する研究者	学術情報センター管理室提出
8	英語論文投稿支援	2月24日	英文ジャーナルへ投稿を行う際に、サービスの一部を助成	1件あたりの上限額10万円

e-learning 研修に参加しませんか？

すでに開催した研修と、これから開催する研修のリストです。これからも各種研修を開催しますので、ぜひご参加ください。また、昨年のFDでは反講義収録機材を使った反転授業のイメージを掴んでいただく事例を紹介しました。本学にある機材(2台あります)を使って授業をあらかじめ編集しておき(例えば15分程度をいくつかに分けて)、学生が事前にWEBからチャージで見ておき、授業では理解を深めるための議論やワークなどをすることができます。知識や技術の伝達には適していると言われています。ご関心のある方は、情報基盤部門にお問い合わせください。

4月18日(月)・19日(火)・22日(金)	コンピューター相談会。その他の時間帯は、D館3階の情報化相談室で随時受付。	桜翔館1F
6月14日(火)	はじめて使う本学WEBからチャージ紹介。国内の大学でのeラーニングの普及状況、Moodle(eラーニングシステム)の紹介	Y-ACT
6月28日(火)	2016年度版WEBからチャージでの変更点についての紹介。新しい小テストの問題形式などについて紹介	Y-ACT
8月9日(火)14:30-15:30	WEBからチャージのリソース機能の紹介(資料等のアップロード、ラベルの編集およびトピックの管理)	Y-ACT
8月26日(金)14:30-15:30	WEBからチャージのフィードバック機能を使ったアンケートの実施や、ロールの切り替え機能を使って、学生から見た画面と機能の確認	Y-ACT

大学教員・職員向けの図書の閲覧について

図書館ロビーに、大学教員・職員向けの図書が置いてあるのをご存知ですか。世界中の大学で、教員や職員のキャリアアップに向けた制度や研修の整備が進められています。日本においても各地の大学コンソーシアムや学会などが仕組みづくりの議論をしています。大学教員には研究者としてだけでなく、教育や地域貢献、大学運営の能力育成が求められ、大学職員には高等教育サービスを行うプロフェッショナルとしての高い専門性が求められるようになり、さまざまな図書が出版されています。大学を取り巻く情報については、『大学マネジメント』『Between』『IDE』などの雑誌が発行されています。そのような情報の一部を、図書館ロビーの本棚の一角で手に取っていただけるよう、内容を充実していきます。

科学研究費申請が始まります

9月から始まる科学研究費申請に向けては、『科研費獲得の方法とコツ』など、過去2年間にわたって本学で行われた科研費申請FDで紹介された図書を上記のコーナーに置いています。また、本学の科研費獲得者の過去の申請書については、ご同意いただいた方のものを学術情報センター内で閲覧できます(コピー等は不可)。なお、中期計画により「全ての教員が科研費に申請」となっておりますので、早めのご準備をお願いいたします。

本学教員の出版図書コーナーに寄贈をお願いします

図書館ロビーには、本学の教員が出版した本の展示コーナーがあります。学術書やテキスト・副読本、ブックレット等、ご出版の際にはぜひ一冊、図書館にご寄贈をお願いいたします。

8月・9月の図書館

学期期間中は夜10時まで開館している図書館・看護棟図書室ですが、前期試験終了後から後期開始までは午後5時までの開館となります。また、8月10日(水)から17日(水)には図書の点検作業を行うため、図書館は休館します。その他、館内整備等による休館日を設けていますので、カレンダーをご参照の上、ご利用ください。

2016年8月の開館日

● 休館日

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2016年9月の開館日

● 休館日

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※8月～9月は夏季休業中につき、土・日の特別利用はありません。
(8月6日のみ特別利用)

学術情報センター職員からの「ひとこと」

- ある図書館員の集まりで、今一番大きな利用者サービスの変化を見せているのは大学図書館ではないか、という話題になりました。確かに公共図書館などよりも動きが速いように感じます。当館でもその一端として電子ジャーナルやデータベースの充実を図っています。8月にリニューアルされたOPACの画面から、色々な情報の入手を試してみてください。(町田敬一郎)
- 図書館の利用者を眺めていると、「一人で黙々と勉強するタイプ」と「皆で意見を出し合いながら勉強するタイプ」に分かれます。現在の図書館では後者に「お静かに」と注意するしかなく、将来はそれぞれが満足できるような新図書館になればと期待しています。(窪田啓子)
- 図書の展示を担当しています。今夏「いずれの図書にもすべて、その読者を」をテーマに、魅力があると思われるのに一度も貸出されたことのない図書を展示しました。借りられない、利用されない図書が展示することにより人目に触れ、1冊でも多く貸出、利用されることを願っています。(清水千裕)
- 図書館には学術雑誌や紀要だけでなく、ほっと一息つける一般雑誌もあります。スマホで料理も観光も手軽に検索できるので、雑誌を手にとられることが少ないかと思いますが、ブラウジングコーナーで紙の重みを感じつつペラペラとページをめくってみてはいかがでしょうか。(邑澤友見)
- 図書の受け入れの担当をしています。教職員の方や学生の研究に役立つための図書の装備をする役割として責任とやりがいを感じています。書架に整然と並んでいる研究図書はまだ知らない世界を知る扉とも思われることから書架整理に気を配りたいと思います。(入江典子)
- 新刊の展示コーナーに季節を感じるディスプレイを始めました。4月は桜、5月はこいのぼり、6月は紫陽花+蛙、そして7月は朝顔をテーマにちょっとした小物を飾っています。たまには勉強の合間の気分転換に、季節を感じつつ新刊を手にとってみませんか。(鈴木初子)
- 学術情報センター管理室での事務補助、図書館でのカウンター業務に携わっております。周りの方々に助けをいただきながら日々奮闘しております。至らぬところばかりですが、一步ずつ精進していけたらと思っております。よろしくお願いいたします。(森永英里子)